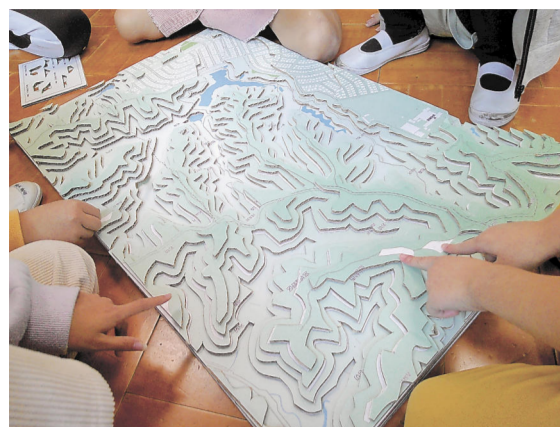


鶴が丘小

縦割り班で交流を深める



これがイチオシ

ジオラマ作り防災学ぶ

鶴が丘小学校では、4年生が総合的な学習の時間に、仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室の「段ボールジオラマ授業」を受けます。ジオラマは、その土地の高さが分かる地図です。ジオラマ作りを通して、自宅や学校付近の高さや、七北田川の近くに多くの危険があることが分かりました。

授業を通して鶴が丘地区は山が多いので、土砂崩れの危険も高いと思いました。災害が起きたときは、社会科でも学習した「自助」「公助」「共助」の心で、皆で助け合いたいです。

学校名 仙台市立鶴が丘小学校
所在地 仙台市泉区鶴が丘1の350
創立 1982年
電話 022(373)0702
校長 小関 保仁
児童数 262人

鶴が丘小学校では、年に一度「あおぞら遠足」という学校行事があります。1年・4年・6年と、2年・3年・5年の縦割りの班に分かれ、県民の森まで歩きます。遠足でみんなが楽しみにしているのはアスレチックです。たくさん種類のアスレチックがあり、自然に触れながら、協力してアスレチックの道を進んでいきます。道が長く、大変ですが、その分ゴールしたときはとてもうれしくてみんな笑顔になります。アスレチックが終わると

年に一度あおぞら遠足



編集委員 鈴木心希、岡崎裕河、岡野遼生、平野羽奈(6年) 齋藤紘(4年) 指導教員 荒木美香 砂金悠介

わが校わがまち スクール通信



今回は 大和小(仙台市) 大河原南小(大河原町)

砂で造形 自然と触れ合う

大谷小



これがイチオシ

黒板通して学校を発信

大谷小学校の校門の近くには外黒板があります。登校時にたくさんの児童の目に入る身近な存在です。6年生が日替わりで心を込めて書いています。「黒板の絵や言葉を見ると元気が出る」と地域の方は話しています。

また、地域の皆さんは月に一度、外黒板の周りや歩道の掃き掃除をしたり、毎朝、交通整理をしたりなどしてください。私たちは、外黒板を通して大谷小学校を発信し、地域の皆さんに感謝しながら、さらにつながりを深めていきたいと思います。

学校名 気仙沼市立大谷小学校
所在地 気仙沼市本吉町三島28
創立 1873年
電話 0226(44)2202
校長 小野寺 龍哉
児童数 139人

大谷小学校では、毎年夏に「海に親しむ集い」で、大谷海岸のごみ拾いをしたり、縦割り班ごとに砂の造形を行ったりして、海と向き合い、自然と触れ合う大切な時間を過ごしています。忘れられない出来事もありました。震災後、初めて全校で大谷の海に入ることができたのです。波が足に触れた瞬間、歓声が海辺に広がり、胸の奥から喜びが込み上げました。6年生にとっては最初で最後の特別な体験で、小学校生活最高の思い出になりました。

夏の「海に親しむ集い」



震災後、初めて全校で大谷の海に入り、歓声を上げる子どもたち

編集委員 遠藤叶大、大原れお、大原ねお、藤井美桜(6年) 大崎心音、森時慎、一戸凜(5年) 指導教員 菅原優、藤田さくら

危険性を指摘したのは2年生7人だった。昨年10月に荒町児童館が企画した「ぼうさい探検マップ」作りで通学路の危険箇所を探そうと、東九番丁通の車のスピードが速いことに気付いたという。児童館の意見を踏まえ、荒町商店街の店主が区役所に相談。2月12日に児童や区道路課職員が現場を確認した。住民らは、連坊小路に接続する交差点を信

仙台市若林区の荒町小児童館が行政を動かした。通学路の市道「東九番丁通」について「車のスピードが速くて危ない」と感じたことがきっかけ。現場を確認した区道路課は「歩行者注意」と減速を促す道路標示を新たにペイントした。東九番丁通は、荒町商店街がある県道235号から北に向かう市道。道路幅4・6メートルの一方通行で、走行速度は時速30キロに規制されている。危険性を指摘したのは2年生7人だった。昨年10月に荒町児童館が企画した「ぼうさい探検マップ」作りで通学路の危険箇所を探そうと、東九番丁通の車のスピードが速いことに気付いたという。児童館の意見を踏まえ、荒町商店街の店主が区役所に相談。2月12日に児童や区道路課職員が現場を確認した。住民らは、連坊小路に接続する交差点を信

「車が危ない」小2の声反映

仙台市が標示ペイント



東九番丁通で通行量などを確認する児童や市職員

本のプロ 推しの一冊

「バスカヴィルホールのありえない物語1」
アリ・スタンディッシュ 作
イアコポ・ブルーノ 絵
代田亜香子 訳
ポプラ社



ホームズの作者が主人公

みなさんは、世界で最も有名な探偵「シャーロック・ホームズ」を知っていますか。私もホームズファンの1人ですが、ホームズの生みの親、アーサー・コナン・ドイル本人がこの物語の主人公と知って、大興奮！ 非凡な才能と頭脳を持つ少年アーサーは、ある日、女性と赤ん坊を救いました。機転を利かせた賢いアーサーは、一部始終を見守っていた謎の老紳士の目に留まり、特別学校「バスカヴィルホール」に入学することになるのです。アーサーの出会いと冒険の物語のスタートです。バスカヴィルホールでもアーサーはさまざまな事件に遭遇、その才能を十分に発揮して解決していきます。先生や同級生は、名作シャーロック・ホームズに登場する有名人ばかり。比喩ながら読むと発見や驚きがあるかもしれませんね。アーサーと一緒に事件の謎を解いてみませんか。中学生から。(宮城県図書館 藤田寛子さん)